令和8年10月受付分　公表

番号	件　名	市民の声（要旨）	市の回答	
1	鈴の音バスのページに関して	鈴の音バスの時刻が変わるアナウンスをもっと大々的にするべきでは？ 10月1日から変更ならせめて、当日始発のバスが走り出す前に、載せているPDFファイルの時刻も作り替えて直すべきです。混乱させる元かと思います。 一定数利用する方がいる公共交通機関なのであれば、情報の更新はきちんとして欲しいです。	ご指摘いただきましたダイヤ改正の周知につきましては、ご利用の皆様に混乱が生じないよう、以下の通り事前にお知らせを行ってまいりました。 ・8月より、市ホームページにてダイヤ改正のお知らせ及び改正後の時刻表を掲載 ・「広報まつさか」9月号にてダイヤ改正の案内を掲載 ・10月中旬より、各バス停にて新旧両方のダイヤ（時刻表）を掲示 しかしながら、より大々的で分かりやすい周知という点におきまして、配慮が行き届かずご不快な思いをさせてしまいましたことを真摯に受け止め、お詫びを申し上げます。 また、ホームページ上に掲載している各鈴の音バスのページですが、9月30日までは旧ダイヤで運行を続けているため、事前に更新してしまうと旧ダイヤをご利用のお客様が誤解される恐れがございました。そのため、運行が切り替わった後の10月1日当日での差し替え対応とさせていただいております。ホームページの更新対応の関係で、10月1日の始発までに最新の情報をご提供できず申し訳ございませんでした。 今回いただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、より市民の皆様に伝わりやすく、分かりやすい情報発信やタイムリーな更新に努めてまいります。今後とも鈴の音バスをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。	商工政策課 （電話：53-4184）
2	休祝日の車椅子の貸出について	高齢夫婦二人暮らしですが、先日、急に体が動かなくなり、その際にトイレへの移動や介助に非常に困りましたので、余剰がある時のみでよいので、常時ではなく急に体調が悪くなった時に一時的に休祝日に車いすを貸出していただけると助かります。 平日等は貸出していただけるところがありますが、休日等は社協等も休みで対応しているところがなく、市役所当直もしくは橋西のまるごと相談室等での空いている車いすの休祝日のみの貸出は出来ないでしょうか。 休祝日のみ貸出可能、平日初日には必ず返却する、貸出可能分が無い場合は貸出不可など、なにとぞご検討のほどよろしくお願いいたします。	障がい福祉課では、病気やケガなどで一時的に車椅子が必要な方に対して車椅子を無料で貸出しています。貸出期間は原則1か月で、事情がある方には期間の延長が最大3か月まで可能となっています。現在13台の車椅子を保有しており、台数の範囲内で貸出をしています。対象となる方は松阪市に住民票がある方で、常時ではなく一時的に車椅子を必要とする方となります。手続きには市役所障がい福祉課に申請書を提出していただく必要があり、その際に身分証明書が必要となります。 なお、貸出手続きにつきましては、開庁時間のみとなりますので、お問い合わせにありますように休祝日に手続きを行うことは出来ません。誠に申し訳ございませんが、ご自身の体調などを鑑み、休祝日にご利用になられる場合は、あらかじめ休祝日前に申請していただく必要がございます。 ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。	障がい福祉課 （電話：53-4082）
3	小学校の運動場について	松阪市内の小学校では、運動場が十分に整備されている学校と、砂場のように足を取られやすく、安全性に課題のある学校があると思います。 学校行事、体育授業、休み時間の遊び、少年団活動など、地域の子どもたちが日常的に使用する場所であることを踏まえると、現状のままでは転倒リスクやケガの危険性が高く、安心して活動できる環境とは言えません。 少子化が進む中で学校数が多い松阪市では、全校一斉の改修は難しいと思いますが、まずは 生徒数が多く利用頻度の高い学校から優先的にグラウンド整備を進めていただき、子供たちが安全に遊べる場を作っていただきたい。	小学校運動場の維持管理につきましては、各学校の校務員による草刈りや砂の補充、凹凸の解消等を行っております。また、各学校の状況を確認し、優先順位を設定の上、運動場改修工事を進めておりますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。 今後もより良い環境整備を目指して取り組んでまいりますので、お気づきの点がございましたら引き続きご意見をお寄せください。このたびは貴重なご意見を賜り、心より感謝申し上げます。	教育総務課 （電話：53-4382）
4	インフルエンザワクチンの助成について	松阪市では、高齢者のインフルエンザワクチン接種の助成があり、対象者は二千円で摂取できます。夫婦２人でも四千円です。しかしながら、子どもにはその助成がありません。そのため、3歳の子の場合、インフルエンザワクチンは、3週間あけて、２回に分けて打つ必要がありますが、１回あたり四千円、合計八千円が毎年かかります。子どもが２人の場合は一万六千円・3人の場合は二万四千円になります。物価高の中、負担が大きく感じます。子どもにも、インフルエンザワクチンの費用助成をしていただけないでしょうか。ご多忙のところ申し訳ございません。ご回答宜しくお願い申し上げます。	ご指摘いただきましたように、松阪市では現在、国の定めた定期接種である「高齢者を対象としたインフルエンザの予防接種」に対し、接種費用がお一人2千円となるよう助成を行っております。一方、小児のインフルエンザワクチン接種につきましては、現時点では国の定めた定期接種の対象となっておらず国からの費用助成がないため全額自己負担とさせていただいております。ご意見にあります通り、幼児の場合は接種回数が2回必要であり、さらにお子様が複数いらっしゃる場合には家計にとって大きなご負担が生じることは、十分理解しております。このような状況に寄り添い、ご負担を軽減する仕組みについては大変重要であると考えておりますが、現時点では財源の確保や制度設計などの観点から、小児への接種費用助成の実施には至っていない状況です。 しかしながら、今回いただいたご意見は、松阪市としても貴重な市民の声として慎重に受け止めさせていただき、今後の政策検討の参考とさせていただきます。日々の生活の中での負担軽減を図るべく、よりよい市民サービスの充実に努めてまいります。お忙しい中、ご意見をいただき誠にありがとうございました。今後とも市政に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。	健康づくり課 （電話：31-1212）

令和8年10月受付分　公表

番号	件　名	市民の声（要旨）	市の回答	
5	県道59号ベルファーム方面「泉の森交差点」信号について	この交差点の脇道の信号待ちの車を目撃した事が無いのに、信号が常に作動して赤になります（脇道には、車両感知センサー有るが全く動作していない）。 信号が赤になる度、本道の車を停止させる事は、全くの無駄で、CO2増加と時間的な経済損失になっています。 また、ここで停止した為に次の信号直前に赤になり、急ブレーキで更に無駄なガソリンを使い、一層のCO2増加と時間的な経済損失となっています。 至急、車両感知センサーを正常化させ、脇道からの車が有る時だけ信号が作動する様、正常な状態にして下さい。	ご指摘いただいた信号機について担当職員が現地へ赴き確認したところ、主道路側の青色信号は約50秒、従道路側の青色信号は約30秒で切り替わる運用となっておりました。確認時は主道路の交通量が多い一方、従道路の交通量は少ない状況でした。 信号機は公安委員会（警察）が管理運用しておりますので、いただいたご意見及び現地確認した状況を松阪警察署へお伝えし、確認を依頼しました。 松阪警察署からは、当該信号機は車両感応式として設置されているものの、現在は定周期式信号機として運用している旨の回答がありました。このため、従道路側に車両がない場合であっても、一定の時間で信号が切り替わる運用となっています。市としまして、いただいたご意見を踏まえ、交通状況に応じたより円滑な信号運用について松阪警察署へ要望いたしました。これからも交通の安全及び円滑化に努めてまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。	地域安全対策課 （電話：53-4061）
6	お願い	いつも松阪市民のために働いてくださってありがとうございます。 前にも一度お願いしたことがあったかと思うのですが、松阪駅前(タクシー乗り場近く)の通路の照明がずいぶん前から切れています。駅前の道が暗いと防犯的にも危ないですし、さびれた感じになると思うので照明直してもらえないでしょうか？ よろしくお願いします。	松阪駅前のタクシー乗り場付近の照明について、ご連絡を頂きありがとうございます。 照明の交換について修繕業者へ依頼を行いました。照明器具のため現地調査や資材の調達にお時間が掛かり申し訳ございませんが、もうしばらくお時間を頂けると幸いです。 また、昨年度も同様のご連絡を頂戴しているにも関わらず、対応が遅くなり申し訳ございませんでした。	建設保全課 （電話：53-4412）